

公告第675号

令和7年4月1日

音羽健康保険組合
理事長 金丸 徳雄



令和7年度の予算の概要についてお知らせいたします。

- (1) 令和7年度の事業と予算について
- (2) 令和7年度の収入支出予算について
- (3) 令和7年度に行う主な保健事業について



令和7年度の事業と予算について

音羽健康保険組合
理事長 金丸徳雄

令和7年度の収入支出予算は、2月19日に開催された第161回組合会で決定いたしました。ここ数年は高齢者納付金の増加が健保財政に大きく影響しており、この点に留意しながら編成いたしました。

一般勘定の予算額は約26億2,000万円で、前年度予算に比して約3億3,200万円の減額といたしました。経常収支で4億1,700万円の赤字予算になっていますので、別途積立金からの繰入金で充当します。

令和7年度の予算策定および保険料率の決定に大きな判断要素となるのが保険給付費と納付金です。保険給付費の予算は前年予算より約4,600万円少ない約9億1,500万円で予算を組みました。今期はインフルエンザが大流行しましたが、令和7年度も被保険者の医療機関への受診は依然として高い水準であるだろうと予測されるため、この数字にいたしました。

納付金のうち前期高齢者納付金は、前年比約7,600万円の減額の見通しで約4億8,000万円と予想しています。前期高齢者納付金については当健保組合の前期高齢者に対する保険給付費の増減が大きく影響します。後期高齢者支援金は前年比約3,300万円減って約6億2,000万円となる予想です。後期高齢者支援金については高齢者本人の負担を増やすことに加えて、現役世代の負担能力に応じるために報酬水準に基づいた負担を導入しているため、各健保の総報酬額によって納付額が調整されます。以上のことから予測すると、令和7年度の納付金は合計で1億1,000万円ほど減少する見込みです。

これら状況をふまえて令和7年度の一般保険料率を検討しましたが、本年度は7.5%で据え置くことにいたしました。

保険料率は令和7年も変更なし

続いて音羽健保の令和6年度の財政状況をご報告します。

令和6年度の音羽健保の決算の予想は、経常収支で2億9,900万円の赤字の見込みです。その大きな要因は高齢者納付金が令和5年度に比べて3億6,000万円も増加したことにあり、これにより別途積立金は約22億3,900万円となります。

収入の基本となる被保険者数は、前年とほぼ同じで2,755名となりました。標準報酬月額8万7,397円となり、年間の総標準賞与額は16億5,000万円の予想です。昨年度は保険料率を変更しませんでしたので、保険料収入は約20億544万円の予想です。

支出は、保険給付費が前年比900万円の減少で約7億7,200万円、前期高齢者納付金や後期高齢者支援金などの納付金は、前年比でプラス約3億6,000万円と大幅に増えて、約12億1,000万円となっています。保健事業費は約1,600万円増加して、約2億4,100万円の支出と予想しています。

健康保険組合全体(1,380組合)の令和5年度の決算見込みは1,367億円の赤字となり、全体の5割を超える726組合が赤字を計上しています。音羽健保としても高齢者への拠出金は引き続き増加傾向にあり、厳しい財政状況が続きます。今後も財政の健全化に務め、安定した運営を行なっていきたいと考えています。



令和7年度の収入支出予算について

「令和7年度・収入支出予算」は組合会にて決定後、関東信越厚生局に提出し受理されましたので、下記の通り、公告いたします。

※一部、端数処理の関係上、会計が合わない場合があります。



令和7年度 収入支出予算（一般勘定）

1. 予算概要（前年度予算比）

（単位：千円）

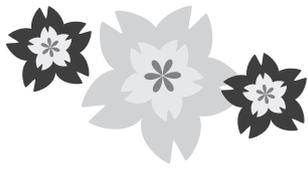
項目	予算額	被保険者1人当たり（円）	前年度予算額比
収入	2,620,384	951,138	▲ 332,658 (88.74)
支出	2,620,384	951,138	▲ 332,658 (88.74)
残金	-	-	-(-)
経常収入	2,024,560	734,868	▲ 78,119 (96.28)
経常支出	2,442,248	886,478	▲ 168,349 (93.55)
〃 差引額	▲ 417,688	▲ 151,611	90,230 (383.72)

2. 収入のポイント

款	項	名称	予算額	前年度予算額比
1	-	健康保険収入	1,999,440	▲ 80,479 (96.13)
	1	一般保険料	1,999,110	▲ 80,488 (96.13)
	2	国庫負担金収入	330	9 (102.80)
2	-	調整保険料収入	40,770	▲ 4,483 (90.09)
3	-	繰越金	0	0 (-)
4	-	繰入金	555,512	▲ 249,753 (68.98)
5	-	国庫補助金収入	354	44 (114.19)
6	-	特定健康診査事業収入	0	0 (-)
7	-	前期高齢者交付金	0	0 (-)
8	-	出産育児交付金	336	▲ 27 (-)
9	-	財政調整事業交付金	5,000	0 (100.00)
10	-	雑収入	18,972	2,040 (112.05)
	1	利子収入	622	40 (106.87)
	2	施設利用料	8,000	0 (100.00)
	3	返納金	2,000	1,950 (4,000.00)
	7	雑入	8,350	50 (100.60)
		合計	2,620,384	▲ 332,631 (88.74)

3. 支出のポイント

款	項	名 称	予算額	前年度予算額比
1	-	事務所費	145,018	▲ 1,713 (98.83)
	1	俸給	43,500	9,800 (129.08)
	2	諸給	57,900	3,500 (106.43)
	3	需要費	43,018	▲ 15,013 (74.13)
	4	雑費	600	0 (100.00)
2	-	組合会費	200	▲ 252 (44.25)
3	-	保険給付費	915,263	▲ 46,829 (95.13)
	1	法定給付費	868,170	▲ 53,255 (94.22)
	2	付加給付費	47,093	6,426 (115.80)
4	-	納付金	1,100,002	▲ 110,002 (90.91)
	1	前期高齢者納付金	480,000	▲ 90,000 (84.21)
	2	後期高齢者支援金	620,000	▲ 20,000 (96.88)
	3	病床転換支援金	1	0 (-)
	4	日雇拋出金	0	▲ 1 (0.00)
	5	退職者給付拋出金	0	▲ 1 (0.00)
	6	流行初期医療確保拋出金	1	0 (100.00)
	7	出産育児関係事務費拋出金	0	0 (-)
5	-	保健事業費	272,740	▲ 8,800 (96.87)
	1	保健事業費	194,240	12,400 (106.82)
	1	1 特定保健診査事業費	25,540	0 (100.00)
	1	2 特定保健指導事業費	4,000	0 (100.00)
	1	3 保健指導宣伝費	33,500	6,700 (125.00)
	1	4 疾病予防費	91,100	4,600 (105.32)
	1	5 体育奨励費	15,100	1,100 (107.86)
	1	6 契約保養所費	25,000	0 (100.00)
	2	高額医療費貸付金	0	0 (-)
	3	出産費貸付金	0	0 (-)
	4	直営保養所	78,500	▲ 21,200 (78.74)
6	-	還付金	532	1 (100.19)
7	-	営繕費	21,000	▲ 9,003 (69.99)
8	-	財政調整事業拋出金	40,771	▲ 4,482 (90.10)
9	-	連合会費	2,000	0 (100.00)
10	-	積立金	5,512	247 (-)
11	-	雑支出	1,005	▲ 996 (50.22)
12	-	予備費	116,341	▲ 150,829 (43.55)
合 計			2,620,384	▲ 332,658 (88.7)



令和7年度 収入支出予算（介護勘定）

1. 予算概要（前年度予算比）

（単位：千円）

項目	予算額	被保険者1人当たり（円）	前年度予算額比
収入	377,533	178,082	16,555（104.59）
支出	377,533	178,082	16,555（104.59）
残金	0	-	-（ - ）

2. 収入のポイント

款	項	名称	予算額	前年度予算額比
1	-	介護保険収入	332,532	16,558（105.24）
2	-	繰入金	45,000	0（ - ）
3	-	国庫補助金収入	0	0（ - ）
4	-	雑収入	1	▲ 3（ - ）
合 計			377,533	16,555（104.59）

3. 支出のポイント

款	項	名称	予算額	前年度予算額比
1	-	介護納付金	291,241	▲ 64,587（81.85）
2	-	還付金	200	0（100.00）
3	-	積立金	36,092	36,092（ - ）
6	-	予備費	50,000	45,050（ - ）
合 計			377,533	16,555（104.6）



令和7年度の主な保健事業について



● 特定健康診査事業、特定保健指導事業

事業項目	概要	対象者
特定健診（被保険者）	【目的】健康状態の把握 【概要】事業主健診と併せて実施。任継被保険者のみ健保にて実施	被保険者
特定健診（被扶養者）	【目的】健康状態の把握 【概要】特定健康診査の実施。	被扶養者
特定保健指導	【目的】メタボ該当者の減少 【概要】医師や保健師・管理栄養士の指導のもと生活習慣改善に関する個別目標を設定した上で指導実施	被保険者および被扶養者

● 保健指導宣伝

事業項目	概要	対象者
機関誌等発行	【目的】情報発信、健康意識の醸成 【概要】「赤ちゃんと！」など発行	被保険者
保健事業指導書	【目的】健康意識の醸成 【概要】ガイドブックを年1回作成してHPにアップ	被保険者
医療費通知	【目的】健康意識の醸成 【概要】医療費情報をWEBにて更新	被保険者および被扶養者
インセンティブ付与	【目的】健康意識の醸成 【概要】医療費情報をWEBにて更新	被保険者
医療費適正化	【目的】後発医薬品切替による医療費の適正化 【概要】ジェネリックカードの送付およびジェネリック医薬品差額情報閲覧	被保険者

● 疾病予防

事業項目	概要	対象者
大腸がん対策	【目的】大腸がんの早期発見 【概要】検体検査(10～11月)	被保険者
骨密度検査	【目的】骨粗しょう症の早期発見 【概要】事業主健診とあわせて骨密度検査	被保険者
女性のがん検診	【目的】子宮がん・乳がんなど女性特有のがんの早期発見 【概要】年度内に1度、希望する女性の被保険者に対して100円未満を切捨てた金額を補助	被保険者
脳ドック	【目的】脳疾患の早期発見・成人病予防 【概要】人間ドックとあわせて脳ドック実施。上限40,000円まで補助	被保険者
人間ドック	【目的】病気の早期発見 【概要】希望する35歳以上の被保険者に対して上限70,000円まで補助	被保険者
歯科健診	【目的】う歯予防・口腔ケア推進 【概要】無料の歯科健診・歯科相談。被保険者は事業所別に巡回方式で実施。被扶養者はリストから歯科医院を選んで受診。	被保険者および被扶養者
家庭常備薬	【目的】常備薬の設置による、軽症での受診を抑制 【概要】家庭用救急常備薬の候補薬の中から選択	被保険者
インフルエンザ予防接種	【目的】インフルエンザ予防 【概要】インフルエンザ予防接種補助	被保険者および被扶養者
電話による健康・医療相談	【目的】健康相談・急な病気への対応 【概要】専門職による電話健康相談窓口の設置	被保険者および被扶養者
メンタルヘルス事業	【目的】健康相談・急な病気への対応 【概要】専門職による電話健康相談窓口「心の相談室」の設置	被保険者および被扶養者
ウイルス性肝炎	【目的】肝疾患の早期発見 【概要】入社時健診未受診者を対象としたB型肝炎およびC型肝炎の検査	被保険者

● 体育奨励

事業項目	概要	対象者
スポーツクラブ	【目的】健康・体力づくり 【概要】スポーツ施設の利用補助	被保険者および 16歳以上の被扶養者
ウォーキングキャンペーン	【目的】健康・体力づくり 【概要】健保主催のウォーキング大会実施	被保険者および 25歳以上の被扶養者

● 直営保養所、その他

事業項目	概要	対象者
直営保養所	【目的】リフレッシュ 【概要】直営保養所の運営	被保険者および 被扶養者
旅行補助	【目的】リフレッシュ 【概要】保養施設の利用補助	被保険者
会員制保養所	【目的】リフレッシュ 【概要】会員制リゾート（リゾートトラスト）と契約	被保険者および 被扶養者